

国ではなく「人」と出会った

地球一周の船旅「ピースボート」 明星学園中学(東京)の27人参加



生徒たちが乗った船「パシフィック・ワールド号」 ©Mizumoto Shunya

各地出身の案内人や、現地の人と交流

国際交流を目的に、船で世界を旅する「ピースボート」にこの夏、明星学園中学校(東京都)の生徒27人が乗りました。どんな発見があったのでしょうか。参加者に聞きました。

(中塚慧)

ガザの子「家に帰るのが夢」

ピースボートは、同名の国際NGOがコーディネートする地球一周の船旅で、およそ3カ月かけて世界約20カ国を訪れます。明星学園中の有志の生徒たちは8月に横浜港(神奈川県)を出発し、香港、シンガポールまでの区間に参加しました。12日間の船旅では、世界各地出身のゲスト「水先案内人」の話を聞いたり、水先案内人の一人は、アラブ文学者の岡真理さんでした。イスラエルとパレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスの戦いについても語りました。

山田歩さん(中2)の心に残るのは、岡さんが見せてくれた、ガザの子供たちが夢



「水先案内人」の岡真理さん(右奥)の話を聞く参加者たち=8月 ピースボート提供

日本にある差別にも目を

和田あきさん(中3)が印象に残った水先案内人は、在日コリアンのジャーナリスト、中村一成さんです。今から6年前、在日コリアンへのヘイトスピーチに抗議したことを中傷された当時中学生の男子が、裁判を起こした話がありました。和田さんは「日本は平和だと思っていたけど、差別もあるし、非人道的なこともある。そこに目を向

けなければと思いました。船には合わせて約1500人が乗っていました。出身国は日本のほか、中国や東南アジアの国などさまざま。参加者たちには毎日、ボランティアの講師による英語の授業がありました。授業で重視されたのは、コミュニケーションを円滑にする英語表現です。『It looks good on you. (それ、似合っているね)』など、

参加者たちが口をそろえるのは、「アジアのほかの国の印象が変わった」ということ。渡邊晴太さん(中2)は「これまで中国に対して、よくない印象があった」と打ち明けます。「でもこの旅で出会った中国人はいい人ばかりだった。『国』として見るのではなく、『人』として見られるようになりたい」



インタビューに応じた参加者たち=9月、東京都三鷹市の明星学園中学校



香港のおみやげ屋で現地の人と交流しました=8月 ピースボート提供

ピースボート共同代表の山田澄子さんは「中学生という吸収力のある時期にこの船で国際交流を体験し、得られたことがたくさんあるのでは。例えばどこかで『だからこの国は……』と否定的に語られた時、『自分が出会った(その国の)人はいいい人だった』といえること。それが、世界でいがみ合いをなくすことに、かけらでもつながっている」と話しています。



歌に自信のある 中学生・高校生集まれ!

(9歳~24歳までエントリー可)

共催 朝日小学生新聞・朝日中高生新聞・ユースシアタージャパン



全国英語歌唱コンクール

English Vocal Election (通称 EVE)

エントリー受付中!

締切 | 12月18日(水)

詳しくは EVE HQ 検索



ユースシアターで 1月から始めよう!



かけがえない仲間と過ごすから、もっと学べる。成長できる。

ダンス・歌・ミュージカルが好きな 新メンバー募集中!

申込締切 | 2024年12月12日(木)まで

中学1年生~中学2年生はこちら

高校1年生~24歳の方はこちら

詳しくは

YTJ 検索



詳しくは

YTJ Pro 検索

